

「公民館はどう自治を育んできたか」講座

～寺中構想の精神を引き継ぐ信州の公民館～

寺中構想の精神を現在に引き継ぐ信州の公民館の特色である「公民館専門部制度」に焦点を当て、公民館がどのように自治の担い手を育み、どのように自治の基盤を構築してきたのかを学びました。参加者数 21名

講義

「公民館はどう自治を育んできたか」



名古屋大学名誉教授

松田 武雄氏



事例研究

「信州の公民館がどのように自治の担い手を育み、自治の基盤を構築してきたのか」

【松本市の事例発表】 委員会制度と公民館報について



松本市公民館報全市版
編集委員(↓)

村田 正幸氏

松本市中央公民館主査
(↑)

浅井 勇太氏



【山形村の事例発表】 公民館報について



山形村公民館報編集部長
(↓)

中村 辰弘氏

山形村教育長(↑)

根橋 範男氏



〈受講者アンケートから〉

- ・自治と長野県内の委員会活動の重要性についてとらえられた。(公民館)
- ・公民館について、自治についてモヤモヤしていたものを整理していただいた。(一般)
- ・公民館活動の根本を改めて考えるきっかけとなる話でした。(公民館)
- ・改めて自治を確認し、また地方自治の拠点が公民館にあることを学びました。(社協)
- ・発表者の熱量や地域への思い、その思いが続く基盤を知ることが出来ました。(県・国)
- ・部員の主体的な活動を見習いたい。歴代の館長や村長の高い意識も素晴らしい。(公民館)
- ・地域に参加するときの考え方、姿勢として活用できそうです。(一般)
- ・具体的な活動の中での対話、学び、実践を通して自治意識が醸成される。(公民館)

共催：長野県公民館運営協議会・長野県社会福祉協議会